

第12回サイエンスカフェ★えひめ



野生植物の系統解析

植物はどのように進化してきたのか。その謎を解く手法として、遺伝子分析による解析が進められています。その現場で活躍されている2人の研究者に、系統解析の概要と研究成果を、解りやすくお話しいただきます。

日時：平成27年4月28日(火) 19:00~20:30

場所：愛媛大学校友会館2F サロン(松山市文京町3番 城北キャンパス)

対象：身近な自然に関心のある人、30人 参加費：200円

◆話題提供◆

■早川 ^{ひろし}宗志 さん

(独)農業環境技術研究所 生物多様性研究領域 特別研究員。四国のテンナンショウ属植物を研究

■吉田 ^{まさたか}政敬 さん

山形大学大学院理工学研究科・博士後期課程。研究対象は主にスミレ属植物

裏面でもう少し詳しくご紹介!

★お申し込み★

お名前、電話番号、e-mailアドレス(お持ちの場合)を明記の上、下記の連絡先まで、e-mailあるいはFAXにてお申し込みください。

NPO 森からつづく道
(松山市鉄砲町1-7)

e-mail: info@morimichi.org

FAX: 089-992-9152

(ご提供いただいた個人情報は適正に管理し、サイエンスカフェ★えひめ、自然観察会等のご案内のみ使用します)

*** 主催：NPO 森からつづく道 共催：愛媛大学女性未来育成センター ***

■早川 ^{ひろし} 宗志 さん

プロフィール

高知大学農学部を卒業後、愛媛大学大学院連合農学研究科（高知大学配属）で博士号（農学）を取得。現在は、農業環境技術研究所において、国内外来種問題を回避するための系統地理学的研究を行っています。

今回のテーマ

野生植物における系統解析の方法



お話の概要

各都道府県の植物誌が発行されるなど、日本は詳細な植物相調査が行われている地域の一つです。このような地域の野生植物に対して、近年では、遺伝的解析手法を援用することによって、野生植物の系統関係や分布拡大の歴史といった由来を明らかにすることが可能となっています。今回の発表では、系統解析の概要を簡単に説明するとともに、四国のテンナンショウ属植物における種多様性の要因について、雑種形成の視点から行った研究を紹介します。

（テンナンショウ属写真 右上:マイヅルテンナンショウ、左上:エヒメテンナンショウ、左下:マムシグサ）

写真提供：池内伸（2014）DVD
「四国に咲く日本の草花」より



■吉田 ^{まさたか} 政敬 さん

プロフィール

山形大学大学院理工学研究科・博士後期課程・地球共生圏科学専攻在学中。系統分類学研究分野・共進化学研究室所属。植物の種分化機構の解明や分類学的問題の解決をテーマに研究。対象は主にスミレ属植物。

今回のテーマ スミレ属植物を対象とした 分子系統解析からわかったこと

お話の概要

植物が現在に至るまでにどのような進化的歴史を経てきたのか、形態的・生態的特徴に基づく分類から生じた疑問や問題点は遺伝的解析手法を用いることで解決できるのか、ということに興味をもって研究をしてきました。これまでに調査したシハイスミレとツボスミレに関することを中心に、分子系統解析を通してわかったこととお話しします。

（スミレ属写真:中央から時計回りで ツボスミレ、シハイスミレ、ゲンジスミレ）

